

東呉大学日本語文学科

2026年日本語教育国際シンポジウム

「AI時代の教育と学習

—産業界との対話による未来人材の育成—」

募集要項

- 主旨：**当学科は、長年にわたり、高度な日本語運用能力、日本社会・文化に対する深い知見、そして広い国際的視野を兼ね備え、日台の文化交流を先導し得る専門人材の育成に力を注いできた。教育の重点は「日本語学」「日本文学」「日本語教育学」の三分野に置き、豊かな学術的基盤の構築に努めてきた。
近年、人工知能（AI）技術の飛躍的な進展と世界的な産業構造の大変革を背景に、日本語教育や人材育成の在り方にも、これまでにない視点と革新が強く求められている。こうした時代の要請を受け、当学科は新たな知見の共有と学際的な対話を促進する場として、国際学術会議を開催することとした。
本会議では、企業の代表者を招き、円卓会議（ラウンドテーブル）を実施するとともに、国内外から教育専門家や研究者を広く招聘し、AI時代における日本語教育や人材育成の課題、さらには教育改革の方向性について、多角的かつ実践的な議論を深める。
- 分野：**日本語学、日本語教育学、日本文学及び文化に関する研究課題（未発表の研究内容に限る）。
- 主催：**東呉大学日本語文学科
- 協力：**東呉大学外国語文學院・東呉大学東アジア地域発展研究センター
- 開催日時：**2026年05月08日（金）08：40～17：30
- 開催場所：**台湾東呉大学第一教学研究棟（台北市士林區臨溪路70號）
- 発表言語：**日本語
- 発表形式と時間：**口頭発表20分、講評5分、質疑応答5分
- 発表日程表**

発表申込及び発表要旨提出締切日	2025年12月01日（月）17:00
発表採否日	2025年12月中旬（メールにてお知らせします）
発表原稿提出締切日	2026年03月09日（月）

発表申込・発表要旨及び発表原稿の提出は以下の[Googleフォーム](#)にて行ってください。

①[原稿テンプレート](#)

②[発表要旨提出](#)（2025/12/01前）

③[著書、経歴、同意書提出](#)（2025/12/01前）

④[発表原稿提出](#)（2026/03/09前）

13. 発表原稿形式：

原稿は指定された書式に従って作成すること。規定外の形式は受理されない。

- (1) A4 横書き、Office 2010 以降の Word ファイル（拡張子.docx）を使用。
- (2) 余白設定：上 2.5cm、下 2.5cm、左 3cm、右 3cm。1 行 30 字、1 ページ 30 行。
- (3) ページ数：図表、参考文献及び資料を含めて最大 8 ページ以内。
- (4) 使用言語：日本語
- (5) タイトル：中央揃え、14 ポイント、太字：中国語は標楷體、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman を使用。
- (6) 氏名、所属、学術職名、連絡先は右揃えで記載。
- (7) 本文：
 - ①12 ポイント、左右揃え。
 - ②本文及び節タイトル：中国語は標楷體、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman。
 - ③段落開始位置：日本語は 1 行目 1 字下げ、中国語は 1 行目 2 字下げ。
 - ④節の番号及びタイトル：太字。章間は 1 行空け、節間は改行する。
 - ⑤ページ番号：Times New Roman、10 ポイント、中央揃え。
 - ⑥図表：名称及び図表内テキストは本文規定に準拠し、中央揃えとする。
図タイトルは図の下、表タイトルは表の上に記載する。
- (8) 脚注：各ページ、10 ポイント、本文と同じ字体。
- (9) 参考文献、調査資料：

引用した文献や資料のみを記載。本文と同じ字体を使用。

日本語文献（五十音順）、中国語文献（著者名の画数順）、英語文献（アルファベット順）の順で記載。1 行以上にわたる場合、2 行目以降は 2 字下げすること。

お問い合わせ先：東呉大学日本語文学科秘書 沈晏伊 E-mail：Japanese2@scu.edu.tw

2026年日本語教育国際シンポジウム

著作権許諾同意書

論文テーマ：_____（以下は「本論」）

- 一、本論は東呉大学日本語文学科が主催する「2026 年日本語教育国際シンポジウム」に投稿する。本論は本人の創作を保証し、内容は他人を著作権を侵害さず、それにほかの形で出版することもなく、本人は以上のことを授権し、この書で宣言する。もし宣言した内容と違った場合に、「2026 年日本語教育国際シンポジウム」を著作権法侵害や知的財産権侵害で裁判されるとき、本人がすべての責任を担うことにする。
- 二、本論は東呉大学日本語文学科により、掲載されることを受け入れ、東呉大学日本語文学科が地域・時間・回数の限りなく、印刷・マイクロフィルム・シーディー・電子ファイルの形でコピーやインターネットに配布することの権利を授権する。なおシンポジウム当日に論文発表のビデオと録音も同じである。

論文を二人以上で共同執筆する場合、本合意書に署名した著者または通知された共同著者は、各自が本合意書の条項に同意したものとみなし、代表して署名する著者に対して利用許諾権を授与する。

敬具 _____
東呉大学日本語文学科

氏名（著者署名）：_____

携帯番号：_____

メールアドレス：_____

日付：_____

2026年日本語教育国際シンポジウム

五年以内の研究実績、経歴

(注) 論文題目および要旨は、中国語・日本語の両方のバージョンを提出してください。

氏 名	名前： 振り仮名： (パスポートに登録されている英語氏名：_____)
連絡先	(O)_____ (M)_____ (H)_____ E-mail:_____ 住所:_____
論文テーマ	中国語： 日本語：
所属・職名	
学 歴	
経 歴	
五年以内の研究実績（2020年12月～2025年12月） ※箇条書きで説明してください。	

論文摘要（請以繁體字書寫）

論文題目	
關鍵詞 〈五個以內〉	
內容 (500 字以內)	

研究論文發表要旨（日本語で）

論文テーマ	
キーワード 〈5つ以内〉	
内容 (500 字以内)	